



第569号

令和6年9月1日

公益財団法人 千鳥ヶ淵 戦没者墓苑奉仕会  
〒102-0075 千代田区三番町2  
電話 03 (3261) 6700  
FAX 03 (3261) 6712



http://www.boen.or.jp  
郵便振替口座 00140-2-42556

編集人 中村 勤  
発行人 杉本 順則



墓苑の花「紫蘭」

花言葉

「あなたを忘れない」

# 終戦79年を迎えた

## 千鳥ヶ淵戦没者墓苑



8月15日午後の墓苑六角堂（中央奥が陶棺）



墓前へ向かう岸田総理

昭和20年8月15日の終戦の日から79年の歳月が経過した。ここ千鳥ヶ淵戦没者墓苑には8月14日、15日の両日猛暑の中、多くの参拝者が訪れ、先の大戦で亡くなった英霊に対し、菊花を墓前に手向け手を合わせていた。早朝の開苑から夕方の閉苑まで参拝者の流れが絶えることはなかった。

全国戦没者追悼式の前日である14日は、一般参拝者とともに宮崎県、大分県、福岡県、佐賀県、長崎県、京都府、鹿児島県、熊本県、大阪府、北海道等の遺族会による参拝が行われた。

15日には、全国戦没者追悼式に先立ち、岸田総理大臣、上川外務大臣、武見厚生労働大臣、伊藤環境大臣、木原防衛大臣、及び林内閣官房長官らによる参拝・献花が行われた。この間、鈴木俊一奉仕会会長が岸田総理はじめ各大臣の案内役を務めた。

歳月がいかに流れても、戦没者の慰霊は我々国民の決然たる誓いとして、世代を超えて継承していかなければならない。

令和6年 全国戦没者追悼式での岸田総理の式辞

天皇皇后両陛下のご臨席を仰ぎ、戦没者の遺族、各界代表の列席を得て、全国戦没者追悼式を、ここに挙行いたします。

先の大戦では、300万余の同胞の命が失われました。

祖国の行く末を案じ、家族の幸せを願いながら、戦場に斃れた方々。戦後、遠い異郷の地で亡くなられた方々。広島や長崎での原爆投下、各都市での爆撃、沖縄での地上戦などにより犠牲となられた方々。今、すべての御霊の御前にあつて、御霊安かれと、心より、お祈り申し上げます。

今日の我が国の平和と繁栄は、戦没者の皆様の尊い命と、苦難の歴史の上に築かれたものであることを、私たちは片時たりとも忘れません。改めて、衷心より、敬意と感謝の念を捧げます。

未だ帰還を果たされていない多くのご遺骨のことも、決して忘れません。一日も早くふるさとお迎えできるように、国の責務として、ご遺骨の収集を集中的に実施してまいります。

戦後、我が国は一貫して、平和国家として、その歩を進めてまいりました。歴史の教訓を深く胸に刻み、世界の平和と繁栄に力を尽くしてまいりました。

戦争の惨禍を二度と繰り返さない。戦後79年が経ちますが、歳月がいかに流れても、この決然たる誓いを、世代を超えて継承し、貫いてまいります。未だ悲惨な争いが絶えることのない世界にあつ



石倉・新宗連理事長

新日本宗教青年会連盟による戦争犠牲者慰霊並びに平和祈願式典

8月14日、新日本宗教青年会連盟（新宗連青年会）主催による「第59回戦争犠牲者慰霊並びに平和祈願式典（8・14式典）」が千鳥ヶ淵戦没者墓苑で約400名の青年会会員等の参加を得て行われた。

式典は午後6時に開始され、冒頭、祭壇に灯と千羽鶴を捧げる献灯・献鶴を行い、新宗連青年会・宮本泰克委員長による挨拶の後、参加13教団による教団別の拝礼、平和へのメッセージ、平和の祈り（黙祷）の順で執り行われ、最後に代表挨拶として新宗連・石倉寿一理事長が挨拶し、式典は終了した。

二人の挨拶で共通して強調していたのは「すべてのいのちを尊ぶ世界」と「世界平和」の実現であった。

本式典は、新宗連加盟全56教団からの支援により開催され、そのうち教団別礼拝に参加した13教団は、解脱会、円心教、救世真教、思親会、松緑神道大和山、崇教真光、善隣教、大和教団、玉光神社、



田中・日蓮宗宗務総長

て、我が国は、法の支配に基づく自由で開かれた国際秩序の維持・強化を進め、「人間の尊厳」を中心に据えながら、世界が直面する様々な課題の解決に、全力で取り組み、国の未来を切り拓いてまいります。

終わりに、いま一度、戦没者の御霊に平安を、ご遺族の皆様にはご多幸を、心よりお祈りし、式辞といたします。

日蓮宗 千鳥ヶ淵戦没者追善供養 並 世界立正平和祈願法要

8月15日、日蓮宗主催の千鳥ヶ淵戦没者追善供養並世界立正平和祈願法要が約200名の参列者のもと執り行われた。

午前9時、法要は田中忠紳・日蓮宗宗務総長が墓前に着座して開始された。宗歌斉唱に始まり、道場偈、勧請、開経偈と続き、読経の際には参列者全員が焼香した。その後、修法、表白、唱題、回向、四誓、奉送と続き戦没者のご冥福をお祈りした。

引き続き田中忠紳宗務総長より挨拶として「私達が生きるこの日常は、戦禍の犠牲となられた先人たちの命によって紡がれた。ありがたき時間の積み重ねであることを自覚し、一人でも多くの人々が本来の姿に立ち戻って、尊き他者を敬い、慈しむことによつて、恒久なる安寧すなわち世界平和が一日も早く実現されることをここに願うものであります」と述べた。最後に榊枝奉仕会理事長の挨拶で法要は終了した。



### 令和6年度 千代田区戦没者追悼式

7月13日、千代田区主催の戦没者追悼式が遺族等関係者約150名の参加を得て行われた。梅雨空のもと九段中等教育学校吹奏楽部による式前演奏終了とともに午後6時30分、開式の辞の後、全参列者が起立する中、千代田区海洋少年団による篝火(かがりび)への点火が行われた。

戦没者への黙祷及び国歌斉唱に引き続き、樋口千代田区長、秋谷区議会議長及び吉川遺族会代表がそれぞれ追悼の辞を述べた。

さらに、令和5年度の平和使節代表の女子中学生が『平和への決意』として、「広島原爆ドームを見学し、自分の言葉で平和を伝えていくことの大切さを学び、大人になったら人を助ける職業に就きたい。また、自分の子供が生まれる世界は平和であって欲しい」と力強く述べた。

追悼式は、このあと参列者全員による献花、唱歌「ふるさと」の合唱で終了した。千代田区は、平成7年3月に「国際平和都市千代田区宣言」を発表し、過去の戦争を二度と繰り返さないこと、世界の恒久平和の実現のために自ら積極的に行動することを固く誓い、この宣言に基づき、千鳥ヶ淵戦没者墓苑が所在



平和メッセンジャーの中学生

する自治体として、戦没者慰霊の本式典を実施している。

また、7月から8月にかけて区内の若者(小学6年生〜30歳未満)を沖縄・鹿児島、広島、長崎に平和使節団として派遣し、戦跡等の視察や平和式典への参列を通して、戦争の悲惨さや平和の大切さを学んでいる。今年度の戦没者追悼式では令和5年度の平和使節団の参加者の中高生が司会と、『平和への決意』を発表する平和メッセンジャーを務めるなど、現地での経験を区民に伝えている。



千代田区海洋少年団による献花

### 妙智會教団 戦没者うら盆供養

7月14日、妙智會教団主催の千鳥ヶ淵戦没者墓苑うら盆供養が行われた。当初はあいにくの小雨模様の中、午後1時、「玄題三唱」により式典が開始され、ブラスバンドが演奏する中、青年信徒男女16名による献灯献華献供の儀が粛々と行われた。

この後、宮本法嗣が入堂され、献灯献華の儀、ご祈願、読経が厳粛に執り行われた。引き続きコーラス隊による唱歌「ふるさと」と「夕焼け小焼け」が奉唱された。

唱歌終了時には小雨も止み、宮本法嗣は六角堂前の中央に立ち、参列者全員に対して、「戦没者は国の先祖であり、その先祖の供養を続けることが我々の大きな使命だ。そうすれば必ず平和が訪



参列者による焼香



挨拶する宮本法嗣



献灯献華献供の儀

れる。また、戦争の原因の一つは他人を許さない自己中心的な業だ。他者を想い、許すというこの大きな修行に励んで頂きたい」と力強い言葉で締めくくった。来賓代表として榊枝理理事長が挨拶を行い、その後全員が墓前で焼香して式典は終了した。

### 阿含宗関東別院 太平洋戦争戦没者供養 護摩法要千鳥ヶ淵万燈会

7月15日、阿含宗関東別院による太平洋戦争戦没者供養護摩法要「千鳥ヶ淵万燈会」が千鳥ヶ淵戦没者墓苑にて参加者約600名で営まれた。

万燈は仏の智慧の象徴であり、御霊を成仏へと導く明かりとされている。本万燈会は、祖国日本のために尊い命を捧げられた、すべての戦没者の御霊に対して万燈を献じるとともに、ご英霊の安らぎを祈り、感謝の誠を捧げるために平成6年から執り行われている。

午後6時、全国の信者の思いを込めた万燈が点灯される中、導師清川靖法中僧正が入堂し式典が始まった。法要では国歌斉唱、喇叭保存会による「国の鎮め」の吹奏に続き、護摩法要として、六角堂内では護摩が焚かれ、真っ赤な炎の中真言が唱えられた。

護摩法要の後、桐山靖雄開祖のこれまでの慰霊活動等を紹介した記録映画「千鳥ヶ淵に祈る―戦争犠牲者に捧げる安らぎと感謝―」が上映された。

来賓として奉仕会榊枝理理事長が挨拶を行い、祭主として導師清川靖法中僧正がお礼の言葉を述べた。



導師清川靖法中僧正による護摩法要

その後、東京大衆歌謡楽団による鎮魂歌奉納として、「東京ラブソティ」をはじめ昭和の懐かしい歌謡曲が披露され、最後は参列者全員で「モンテンルパの夜は更けて」を合唱した。

最後に喇叭保存会による鎮魂喇叭として「消灯」と「巡検」が奉納吹奏され、法要は終了した。法要終了後、参列者全員による焼香が行われた。この法要はYouTubeでライブ配信された。



挨拶する導師清川靖法中僧正



墓苑を照らす万燈

その後の意見交換で、①靖国神社との違いは、国民はどちらを参拝するのか。②旧日本軍には朝鮮出身者もいたことから日本と韓国が合同で遺骨収集するべきと思うが、その可能性はあるか。③日本では国のため殉職した警察官、消防官の慰霊はどうしているか、などの印象に残る質問があった。

今回の意見交換を通じて、若い世代の教師たちだけに、未来志向の対日感を持つていように見受けられ、今後の日韓交流のあるべき姿や流れを感じ取れた。帰国後、教壇で生徒たちへ今回の千鳥ヶ淵戦没者墓苑訪問の印象を披露することを期待したい。



墓苑の説明を聞く訪問団

### 大韓民国「東北アジア歴史財団」の公式参拝と意見交換

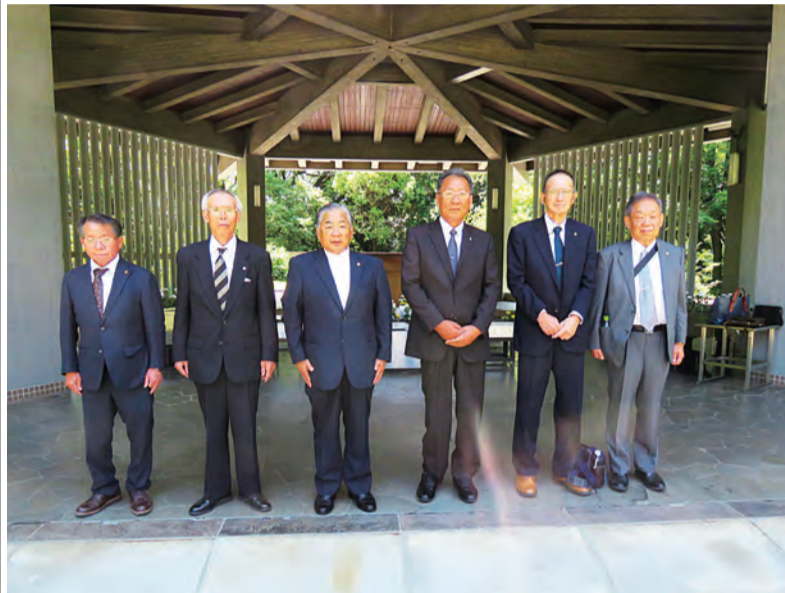
大韓民国「東北アジア歴史財団」の計画により、「2024年東北アジア交流活性化教師海外視察」として、教員22名が7月25日来苑し、参拝並びに意見交換を行った。全員が20〜30歳代の小中学校の若手教員であった。訪問団長は、同財団教育訓練担当部長の鄭銀



神奈川県川崎市遺族連合会 6年6月5日



神奈川県大磯町遺族会 6年5月29日



愛知県蒲郡市戦没者慰霊奉賛会 6年6月11日



愛知県江南市戦没者遺族連合会 6年6月9日

各団体の慰霊参拝



茨城県銚田市遺族会 6年7月1日



千葉県大多喜町遺族会 6年6月22日



スターダスト河内 (盆踊り奉納) 6年7月6日



成蹊大学法学部学生 6年7月2日



愛知県稲沢市遺族会 6年7月13日



和歌山県伊都郡遺族連合会 6年7月10日



岡山県遺族連盟(2) 6年7月16日



岡山県遺族連盟(1) 6年7月16日

各団体の慰霊参拝



水交会 6年7月18日



長崎県連合遺族会 6年7月16日



愛媛県今治市上浦町遺族会 6年7月29日



洗心懇談会 6年7月24日

この刊行物は、宝くじの社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。

### 小学6年生が墓苑を社会科見学

昨年9月に社会科見学で来苑した都内の同じ小学校の6年生79名が6月27日に校長以下2名の教諭の引率のもと千鳥ヶ淵戦没者墓苑の見学を訪れた。今回も約1時間にわたり墓苑の説明受け、質疑応答と自由見学を行った。

後日、前回の見学と同様に児童たち全員の感想文も寄せてくれた。感想文に共通する内容は、①千鳥ヶ淵戦没者墓苑の存在を初めて知った、②戦没者に対する感謝の念、③戦争の悲惨さへの再認識、④墓苑の花、紫蘭の花言葉「あなたを忘れない」などであった。

感想文からもわが国の正しい歴史や戦没者慰霊の意義を若い世代に語り伝える重要性を再認識させられた。また、2年連続で社会科見学の一環として、ここ千鳥ヶ淵戦没者墓苑を見学した学校側に謝意を表するとともに、このような見学が全国に広がることを切に望む。以下、感想文の一部を紹介させていただきます。

《感想文》

・今日はありがとうございました。ぼくが一番心に残ったのはシランの花言葉「あなたを忘れない」です。戦争で亡くなった人を忘れないということです。(男子)

・私は戦争で日本のために命をかけて戦った人がいたことを知り、とても感謝しています。戦争はもう起きてほしくありません。(女子)

・ぼくは国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑を見学させてもらい戦争で亡くなってしまった人のおかげで今日の日本があるのだと思います。また、亡くなってしまったのに遺骨の引き取り手がない人はとてもかわいそうだと思います。(男子)

・ぼくは今まで戦争による死を身近に感じていませんでした。でもこの日で感じました。一生忘れません。(男子)

・先日は見学させていただきありがとうございました。

ございました。各国から遺骨を集めたりしていることを知りました。私達が今生きているのはその人達のおかげなのだと思えました。(女子)

・戦争によって海外で亡くなった人の約半分しか日本に戻って来ないという事を知った時は驚きました。ですが何人ものたましいが休まっているこの墓苑を忘れたくないと思いました。(女子)

・千鳥ヶ淵戦没者墓苑へ行き分かったことは戦争でたくさんの方が亡くなった事です。もう一つは紫蘭の花言葉「あなたを忘れない」です。(女子)

・私は今回の経験でいろいろなことを学びました。ありがとうございました。(女子)

・この経験をこれからの未来の子供たちにも伝えていきたいと思います。(女子)

・私は千鳥ヶ淵戦没者墓苑へ行って、戦争は大変だったということを感じました。お国のために戦ってくださった昔の方々に忘れずにいたいと思います。(女子)

・社会科見学のときはごいねいに説明していただきありがとうございました。六角堂にいる私たちの「今」をつくってくれた人々を忘れません。(女子)

る。麴町警察署が巡路の安全を確保していた。

高さ3・5mの山車には小太鼓をたたき子供3名が横一列に座り、そのうしろに大太鼓も控えていた。長さ10mはある2本の引き綱で子供たちと付き添いの大人たちが山車を引き、その先頭には三番町婦人会の女性役員と法被姿で拍子木を打ち鳴らす男性役員が誘導役を務めていた。

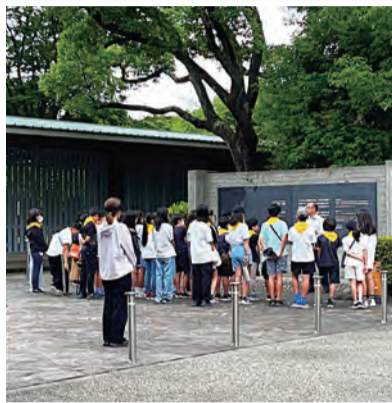
山車は、町内の東郷元帥記念公園を起点として、内堀通り墓苑入口交差点から千鳥ヶ淵緑道沿いに東門から緩い登り坂を進み、奉仕会の誘導により海外戦没者数一覽図の石板の前で停止した。それから子供も大人も全員が拍子木の音に合わせて三三七拍子の手打ちで氣勢をあげ、そのまま全員が墓前へ進み、37万余の戦没者の御霊へ手を合わせた。子供たちの集合写真撮影後、榊枝理事長が墓苑について子供たちにも分かり易く説明した。

前屋での昼食休憩後、再び山車の出発となった。子供達からは墓苑にカブト虫を取りに来てほしいかとの質問も飛び出した。同じ町内会の皆さんがこれを機会に墓苑をさらに身近に感じてくれれば有難く、次回の山王祭りが待ち遠しい。(山王祭と神田祭は1年交互に開催される)

【三番町の紹介】上村 友子町会長 (冊子「令和六年 山王祭」から抜粋)

東郷元帥が明治14年から亡くなる昭和9年までお住まいになった邸宅跡は、今は当町会のシンボルとして、多くの皆さんが利用する東郷元帥記念公園になっています。桜の名所・千鳥ヶ淵緑道、千鳥ヶ淵戦没者墓苑も有しています。新しいマンションが増えて、多くの住民が暮らす三番町は、祭礼や地域の行事の参加者も多く、活気のある町です。これからも町内の皆さんと地域を盛り上げていきます。

【山王祭】(千代田区観光協会作成のガイドから抜粋)



墓苑の説明を聞く小学6年生たち

### 江戸三大祭のひとつ、山王祭を支援

6月9日11時過ぎ、千鳥ヶ淵戦没者墓苑が所在する千代田区三番町(町会長・上村友子氏)の子供達約60名が引く山車は、全員で元気な掛け声を出しながら賑やかに墓苑東門から来苑した。父兄を入れると200名以上の一大団であ

徳川時代、江戸城内に入御した御神輿を、三代將軍家光公以来、歴代の將軍が上覧拜礼する「天下祭」として盛大をきわめ、江戸三大祭の筆頭として、さらに京都の祇園祭・大阪の天神祭と共に、日本三大祭に数えられているお祭り、例年6月に開催される。

徳川時代、江戸城内に入御した御神輿を、三代將軍家光公以来、歴代の將軍が上覧拜礼する「天下祭」として盛大をきわめ、江戸三大祭の筆頭として、さらに京都の祇園祭・大阪の天神祭と共に、日本三大祭に数えられているお祭り、例年6月に開催される。

徳川時代、江戸城内に入御した御神輿を、三代將軍家光公以来、歴代の將軍が上覧拜礼する「天下祭」として盛大をきわめ、江戸三大祭の筆頭として、さらに京都の祇園祭・大阪の天神祭と共に、日本三大祭に数えられているお祭り、例年6月に開催される。

徳川時代、江戸城内に入御した御神輿を、三代將軍家光公以来、歴代の將軍が上覧拜礼する「天下祭」として盛大をきわめ、江戸三大祭の筆頭として、さらに京都の祇園祭・大阪の天神祭と共に、日本三大祭に数えられているお祭り、例年6月に開催される。

徳川時代、江戸城内に入御した御神輿を、三代將軍家光公以来、歴代の將軍が上覧拜礼する「天下祭」として盛大をきわめ、江戸三大祭の筆頭として、さらに京都の祇園祭・大阪の天神祭と共に、日本三大祭に数えられているお祭り、例年6月に開催される。

徳川時代、江戸城内に入御した御神輿を、三代將軍家光公以来、歴代の將軍が上覧拜礼する「天下祭」として盛大をきわめ、江戸三大祭の筆頭として、さらに京都の祇園祭・大阪の天神祭と共に、日本三大祭に数えられているお祭り、例年6月に開催される。



墓前で記念撮影



山車の太鼓をたたく子供達



入苑する三番町の山車

**終戦80年募金**

合計(6年7月31日現在)  
**1,152,000円**

☆募金に協力された皆様(敬称略、順不同)  
齊藤雅文、藤田憲二、倉持盛雄、古谷基徳、青柳幸司◎、柏谷康博、稲垣千枝、村上 健、石原紀子、石丸 寛、萩小田廣男、池上俊邦

凡例: ◎は100口以上の高額募金者  
(皆様のご芳志に篤く御礼を申し上げます)



- ◎奉仕会年度会費納入者(団体・個人)(敬称略、順不同)  
八津御嶽之神社、北 文男、小黒俊之、田村 響、町田純一、西川寛光、西川ひろみ、本庄朋子、大海信一、小林健二、岩崎美智子、野田安平、廣瀬弘子、田丸淑子、西山良正、清水則廣、原田敏裕、水島正彦
  - ◎新入会員(敬称略、順不同) ※正は正会員、終は終身会員  
竹村律子(正)、市野昭一(終)、秋田好晴(終)、松井弘明(終)、亀山和子(終)  
近藤佐季子(終)、佐藤善雄(終)、荒木秀一(終)、金子洋平(終)、古賀輝樹(終)  
鈴木新之助(終)、近藤直光(終)、石川隆一(終)、坂間輝男(正)、門間日聖(終)  
藤森博昭(終)、村瀬 廣(終)
  - ◎奉納、参拝団体・参拝者(敬称略、順不同)  
クラスノヤルスク遺族会、蒲郡市戦没者慰霊奉賛会、長崎県連合遺族会、木更津市遺族会、普明会教団、妙智會教団、阿含宗関東別院、浄土真宗東本願寺派本山東本願寺、水交会、全国警親会連合会、和田時男、柴田米實、福島 久、廣川貞雄、廣川剛秀、酒井治雄、山本勝久、秀平良子、宇佐見光男、藤原淑子、プラビチャヤ・プロマス
  - ◎参拝団体(前項以外、敬称略、順不同)  
川崎市遺族会、江南市戦没者遺族連合会、大多喜町遺族会、茨城県銚田市遺族会、和歌山県伊都郡遺族連合会、岡山県遺族連盟、愛知県稲沢市遺族会、真言宗護国派、喇叭保存会、喇叭伝承会、千代田区海洋少年団
  - ◎清掃奉仕(敬称略、順不同)  
阿含宗清掃奉仕、千鳥ヶ淵戦没者墓苑トイレ清掃奉仕会
  - ◎献花台奉仕者(敬称略、順不同)  
柴山古流・緑山流(井上冷美、本多冷花、藤江冷野)、古流わかば会(武藤理春、武藤理高、武藤理恵、秋葉理恵、金澤理代、丸山理苑)、古流正華道(芦沢千啓、若谷絵理子、若谷ユウシヤ、内田裕甫、松本紗奈、森山千裕、森山日陽、中山実咲、細野美恵、細野心音、京葉古流(小浦一輝、渡邊一陽、原一志、内藤一春)、古流桜会(川合理千、池谷理智、汐満理月、高橋理潤)、柴山古流・緑山流(奥島冷恵、古川冷京、菊地冷瞳)、遠州流(名鏡玲子、堀内一澄)、都古流一孝会(内田和宏、内田空良、湯浅共子)、草月流(花泉由美子、鈴木一恵、垣内まどか)
- 令和6年7月31日まで受付分を掲載、8月1日以降受付分は次号に掲載します。

**参拝して想う(休憩所のノートより)**

○あれから79年目を迎える今年、御国の為に戦地に赴き、お生命使われて誰にも看取られず亡くなり、ご遺骨の引き取り手も分からず、この地にて眠りにつかれています。尊き御霊に心から感謝申し上げます。あなたのお陰で、今の私が、この国の繁栄があります。誠にありがとうございます。あなたは我が国の礎にほかなりません。6年3月17日(男性)

○母の長兄がここ千鳥ヶ淵戦没者墓苑に眠っています。

終戦後ソ連に抑留され、その秋に亡くなったと記録にはありません。二十歳の誕生日頃のように、何年か前に厚生労働省から資料が届き、母と私がDNA鑑定を受けましたが一致せず残念ながら遺骨が戻ることはありませんでした。私にとっては伯父です。せめて私だけでもとお参りしています。

故郷は宮城県の小さな町です。そこには、戦後7年目の日付で法名が刻まれています。子どもの頃遊びに行った祖母の家で写真を見ていましたが、送られ

### 終戦80年事業のお知らせとお願い

来る令和7年、終戦80年の大きな節目を迎えるにあたり、奉仕会は創設の原点に立ち返り、戦没者の慰霊奉賛の気運が更に昂揚されるときともこの灯火が末永く国民全般、特に若い世代に継承されることを念願して次の事業を令和6年度から実施しております。

#### 1 懸賞小論文(投稿文)を募集

- ・テーマ:「戦没者慰霊のあり方(慰霊の継承)」
- ・内容: 年配者はいかに慰霊を若い人に伝えるか、若い人はそれをどのように受け止めるべきかなど。
- ・規定: メールまたは郵送で応募(努めてデータで)。字数は1200~2000字。ワード、A-4、横書き。(手書きの場合、400字詰め原稿用紙使用、鉛筆不可。)表紙に氏名(ふりがな)、年齢、〒住所、電話番号、メールアドレス、職業を明記。応募された原稿等は返却しません。また、著作権、編集権は当奉仕会に帰属します。二重投稿不可。
- ・資格: 不問
- ・賞: 最優秀7万円×1点、優秀5万円×2点、佳作3万円×3点(予定)
- ・審査: 千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会
- ・応募先: 〒102-0075 東京都千代田区三番町二  
公益財団法人 千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会  
メールアドレス: c-houshikai@boen.or.jp
- ・応募期間: 令和6年7月から令和7年1月末
- ・問合せ先: メールアドレス c-houshikai@boen.or.jp
- ・発表: 最優秀、優秀及び佳作を広報紙「千鳥ヶ淵」8月号(終戦80年特集号)に掲載予定
- ・季刊「公募ガイド」(7月9日発刊)にも応募要項を掲載

**WEB「Koubo」**  
<https://koubo.jp/>

#### 2 終戦80年募金

- ・目的: 千鳥ヶ淵戦没者墓苑のリニューアル(施設・設備等)
- ・一口: 個人5千円、団体3万円
- ・期間: 令和6年7月1日から令和7年12月末日まで
- ・振込口座: 郵便為替口座番号 02東京00140-2-42556
- ・「終戦80年募金」と明記して下さい。

以上、皆様のご協力を切にお願い致します。

公益財団法人 千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会  
理事長 榊枝 宗男

てきた資料でいろいろを知り胸が詰りました。

きっと家族は戦争で亡くなったことを信じていたでしょう。実際には捕虜として劣悪な環境で栄養失調が原因で亡くなったと思われれます。本来なら生きて帰れたはずなのに。

戦争を題材にしたドラマや映画で色々知ってはいたのですが、やはりどこか他人事と思っていました。伯父についての資料を読んで初めて感じた胸の痛みでした。伯父さん、また、お盆に来ますからね。6年4月(女性)

○兄が戦死して二年後に私は生まれました。写真でしか知らない兄にここに来ると会える気がします。6年4月(女性)

**墓苑便り(奉仕会だより)**

9月~10月の献花の予定

|          |        |
|----------|--------|
| 柴山古流・緑山流 | 濱中 冷雅  |
| 日新流      | 小田切 博新 |
| 未生流      | 谷口 信甫  |
| 花古流      | 今井 草悦  |

往復ハガキに、氏名(ふりがな)、同伴者がある場合は同伴者氏名(ふりがな)(3名以内)と各人毎の連絡先(郵便番号、住所及び電話番号)を明記の上、8月1日から9月17日までの間に奉仕会宛に申し込み下さい。なお、応募総数が1000名を超える場合は抽選によります。

**参列のご案内**

※10月18日秋季慰霊祭に参列を希望される会員の皆様へ

会員の皆様には昨年、秋季慰霊祭の案内ハガキを送付させて頂きました。本年は参列規模拡大に伴う円滑な受付業務のため、参列を希望される方は往復ハガキにて左記の要領により申し込み頂きたく存じます。

返信ハガキには受付番号を記載して返送いたします。当日、ご携行ください。

**宝くじは、みんなの暮らしに役立っています。**

宝くじは、少子高齢化対策、災害対策、公園整備、教育及び社会福祉施設の建設改修などに使われています。

- 集会用テント
- 一輪車
- 宝くじ桜
- 子宮がん検診車
- 健康手帳(冊子)
- リズガル展示施設
- 救急普及啓発広報車
- 宝くじドリームジャンボ絵本
- ベンチ

日本宝くじ協会

一般財団法人日本宝くじ協会は、宝くじに関する調査研究や公益法人等が行う社会に貢献する事業への助成を行っています。

<https://jla-takarakuji.or.jp/>